

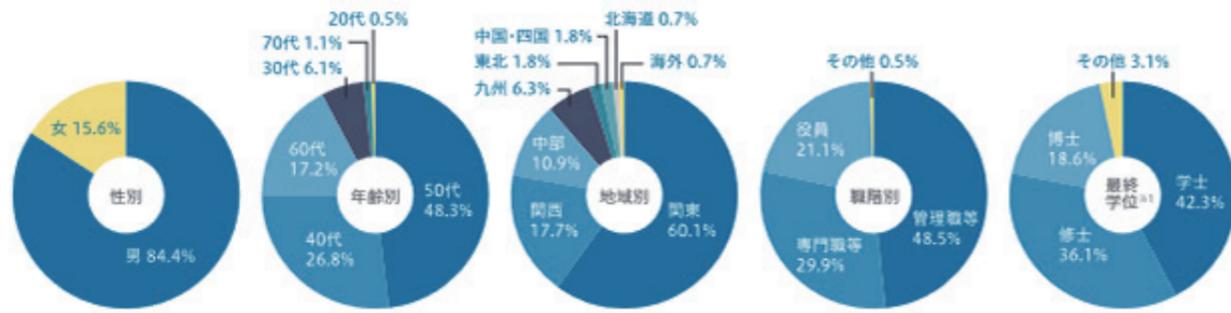
# TEEP

進化型実務家教員養成プログラム

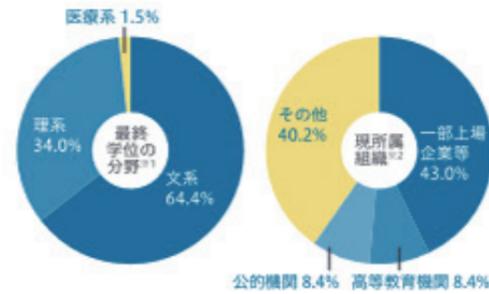
VOL.24

NEWS LETTER

## プログラム参加者データ



性別	人数	年齢別	人数	地域別	人数	職階別	人数	最終学位 <sup>※1</sup>	人数
男	372	50代	213	関東	265	管理職等	214	学士	82
女	69	40代	118	関西	78	専門職等	132	修士	70
合計	441	60代	76	中部	48	役員	93	博士	36
		30代	27	九州	28	その他	2	その他	6
		70代	5	東北	8	合計	441	合計	194
		20代	2	中国・四国	8				
		合計	441	北海道	3				
				海外	3				
				合計	441				



最終学位の分野 <sup>※1</sup>	人数	現所属組織 <sup>※2</sup>	人数
文系	125	一部上場企業等	46
理系	66	高等教育機関	9
医療系	3	公的機関	9
合計	194	その他	43
		合計	107

※1: 上記プログラム01~03受講者データ  
 ※2: 同プログラム01受講者データ(東証等一部上場企業は系列会社含む)

先述のとおり、高等教育においてJREC-INが一般的な求人情報サイトとなっていますが、実務家教員を求めていると思われる求人も併せて多数掲載されていますので、実務家教員求人わかりやすく表示する方法について働きかけるとともに、実務家教員の求人及び人材データベースに特化した「大学等と実務家教員のためのマッチングサポート」サイトの認知度を高める必要があります。各地の本事業の拠点関係者のご意見・ご要望を取り入れたりしながら、実務家教員の採用として進めやすい環境を作っていきたく考えています。

日本で初めての、実務家教員の採用に特化したサイト「大学等と実務家教員のためのマッチングサポート」。TEEPコンソーシアムでも東海地方の高等教育機関へ利用を呼びかけてまいります。

文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」(2019~2023年度)では、実務家教員養成に向け4つのコンソーシアムがあり、実務家教員のキャリア開発を支える2種類のサービスが推進されています。第1はTEEPでも取り組んでいる「実務家教員養成研修プログラム」、第2は東北大学が運営拠点となり実装した人材エージェント「大学等と実務家教員のためのマッチングサポート」です。

今回のニュースレターは、4つの中核拠点を取りまとめる運営拠点事務局である東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センターの稲田ゆき乃さん、朱 嘉琪さんに、プログラムを修了した方々が教員として活躍できる場を提供するこのマッチングサイトの特徴や機能、今後の展望をお聞きました。(聞き手: 名古屋市立大学 大学院経済学研究科教授/TEEP実施委員長 鶴飼宏成)

## 大学等と実務家教員のためのマッチングサポート

### — 実務家教員養成研修プログラム受講者・修了者データベース —

東北大学 高度教養教育・学生支援機構  
大学教育支援センター



稲田ゆき乃さん

朱 嘉琪さん

### 実務家教員の採用に特化した求人マッチングサイト

「大学等と実務家教員のためのマッチングサポート」<https://matching-jitsumuka.jp/>は、大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校といった高等教育機関と実務家教員候補者をマッチング

することを目的としたウェブサイトです。2021年9月30日から運用を開始しています。

現在、高等教育機関における求人情報は、「JREC-IN Portal」という研究者・技術者向けの求人ポータルサイトが一般的に利用されています。しかし、JREC-INでは、研究者という枠組みの中に実務家教員も対象とした求人が埋もれてしまいがちです。同ウェブサイトでもマッチング機能が整備されており、JREC-INと連携する研究者データベース「researchmap」を通じて候補者検索も可能ですが、現在の登録項目では実務家教員としての経験や強みを十分にアピールすることができず、どの人が実務家教員なのか分からないという状況です。そのため、既存のシステムと併行し、実務家教員に特化した独自のデータベース/マッチングのウェブサイト開発が必要と考えました。

▶▶▶ 中面へ続く

2022年3月16日(水)に「TEEP 2021年度 第2回ワークショップ」を開催します。テーマは「育成と採用の視点から実務家教員を考える」です。申込方法など詳細については、Webサイトにてご案内させていただきます。<https://teep-consortium.jp/>



文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」

高等教育における実務家教員の育成と活用

# 大学を変える、日本を変える。

実務経験が豊富なだけでは、教えられません。教える＝学ばせ方には、理論と方法論があります。学びと仕事、学問と社会をつなぎ、学生の心に火を付けてください。

**大学等と実務家教員のためのマッチングサポート**

実務家教員育成研修プログラム受講者・修了者データベース



## 実務家教員候補者が利用するには

「大学等と実務家教員のためのマッチングサポート」は、TEEPなど文部科学省「持続的な産学共同人

材育成システム構築事業」において全国4拠点がそれぞれの特色を活かし提供する実務家教員育成プログラムを受講・修了し、体系的な教育方法・実践等の学習における一定の質の保証がなされた方のみが登録することができます。

プログラム受講者・修了者は、人材データベースとして、同ウェブサイトへの登録を同意した方が登録されます。登録者には、順次、個別のアカウントとパスワードを発行します。

各登録者は、発行されたアカウントとパスワードでウェブサイトへログインすると、マイページから、ご自身の情報、たとえば氏名、学位、学歴、現職や職歴などを随時、登録・更新することができます。現職や職歴の欄は自由記述となっており、ウェブサイトのURLを掲載したり、資料を添付するなど、実務経験を具体的にPRすることが可能です。中には現職を公開しづらい方もいらっしゃると思いますので、氏名など個人を特定する情報は非公開(秘匿)とすること、状況に応じて登録したプロフィール全体を非公開とすることも可能です。人物の教育の質保証となるプロ

文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」  
実務家教員育成研修プログラム受講者・修了者データベース

求人を探す | メッセージ一覧 | スカウト一覧 | マイページ | 通知 | ログアウト

### プロフィール変更

ログイン > フロントページ > マイページ > プロフィール変更

メールアドレス **必須**   
※ログイン・メール通知受信用

公開/非公開 **必須**  公開  非公開  
※非公開の場合、採用側の検索対象外になります  
※非公開の場合、採用側とメッセージ交換できません

氏名 **必須** 姓  名  匿名

フリガナ **必須**   秘匿

性別 **必須**  男性  女性  未回答 秘匿

生年月日 **必須** 2000年 01月 01日 秘匿

学位 **必須**  秘匿

ラム受講状態(受講中もしくは修了)については、事務局が入力し、登録者本人では変更できないように管理しています。

本ウェブサイトの特徴として、登録者が「教える分野」を入力することができます。学問分野は研究者データベースであるresearchmapやJREC-INの項目に則っていますが、実務家教員としての強みや求められるニーズに対応すべく「実務・実技」のカテゴリを設け、「キャリア教育・キャリア支援」「リーダーシップ教育」「アントレプレナーシップ教育」といった分野を独自に設けています。登録者はウェブサイト内で、実務家教員の求人情報を閲覧することもできます。

## 大学など、高等教育機関が利用するには

初めに、本ウェブサイトにて「閲覧者・採用者用アカウント」の登録申請を行っていただけます。事務局で申請アカウントの確認を行い(機関や担当者の確認のため、場合によってはお電話をすることもありますが)、後日メールにてアカウントやパスワードなどをお伝えします。



大学等と実務家教員のためのマッチングサポート

実務家教員の採用をお考えの方 **新規登録**

ログイン情報

メールアドレス **必須**   
※入力されたメールアドレスがログインIDとなります。

パスワード **必須**   
※文字以上8文字以内

その後は発行されたアカウントにてログインしていただくと、「人材を探す」から登録されている実務家教員候補者の情報を検索・閲覧することができます。学位や教える分野、履修したプログラムやキーワードでも検索ができます。例えば「初年度セミナー」で検索すると、初年度のゼミを担当できる、と登録した実務家教員候補者の情報を閲覧することができます。

また、このサイトに実務家教員の求人情報を掲載することも可能です。求人情報を掲載すると、プロ

フィールを公開している登録者にはメールにて新着情報が届けられます。

## 実務家教員候補者と大学等とのコミュニケーションの機能も



スカウト履歴

ログイン > フロントページ > スカウト履歴

すべて | 返信あり OK | 返信あり NG | 返信なし | ブロック

ステータス | 最新日時 | 宛先者・修了者 | 宛先プログラム(受講年度) | 最終学部 | スカウトメッセージ | メッセージ

返信あり OK | 返信あり NG | 返信なし | ブロック

返信あり OK | 返信あり NG | 返信なし | ブロック

さらに、ウェブサイトには大学等と実務家教員候補としての登録者が直接メッセージを送りあえる機能があります。ウェブサイト開設からまだ1カ月ほどですが、すでに求人情報に関して、大学等とコミュニケーションをとられている様子が見受けられます。

また、大学等側からは「スカウト」という機能を使って登録者にメッセージを送ることができます。公募に応募していただいただけませんか、といった呼びかけをすることも可能です。大学等によって選考のプロセスはさまざまですので、スカウトを行うことになじみのない日本の大学等においては利用に抵抗のある場合もあるかとは思いますが、一度お話をしてみる機会としてお使いいただくことも可能ではないかと考えています。

12月2日時点で、実務家教員候補者となるプログラム受講者・修了者の登録は337名(内、データ公開は135名)、採用側となる高等教育機関は30校が登録されています。専門学校は、実技は紹介で人材を確保できるものの、座学等の講義ができる実務家教員を探したいニーズがあるようです。また、その他大学は、社会のニーズに応じ、実務家教員を採用したい、採用した方がよいと考えてはいるものの、どのような経験のある人材を、どのように活用したらよいのか分からないというところも多く、まずはどんな人材が実務家教員候補者として登録されているのかを知りたいという狙いで登録されているところもあるようです。